

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,482.1 点、診療所 1,115.1 点となっている。

1日当たり点数は、病院924.2点、診療所563.1点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」1,162.2点が最も高く、次いで「一般病院」976.7点となっており、「精神科病院」779.7点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「医学管理等」の割合が高く、「画像診断」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、病院 1.60 日、診療所 1.98 日となっている。(表6、図8)

表6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

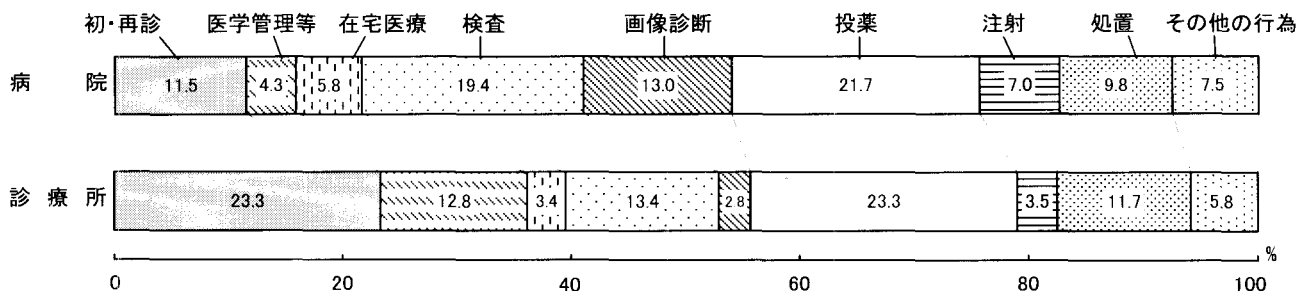
(平成18年6月審査分)

診療行為	病 院					診療所
	総 数	精神科病院	特 定 機 能 病 院	能 療 養 病 床 を 有 する 病 院	一般病院	
1 件 当 た り 点 数						
総 数	1 482.1	1 575.7	1 548.9	1 512.9	1 457.2	1 115.1
初・再診	170.6	149.0	116.5	202.6	163.0	260.1
医学管理等	64.3	31.1	40.4	74.9	63.5	143.1
在宅医療	85.7	6.8	138.7	75.9	87.5	37.4
検査	287.6	57.0	404.6	230.7	309.7	149.5
画像診断	192.2	10.8	247.5	162.5	206.7	30.9
投薬	321.1	551.7	304.1	361.4	295.7	260.0
注射	103.4	10.3	176.4	85.9	107.0	38.7
リハビリテーション	20.9	0.6	3.7	44.1	13.2	9.1
精神科専門療法	36.9	757.9	24.3	26.8	13.7	26.7
処置	145.7	0.5	10.1	203.8	140.3	130.2
手術	34.3	0.0	43.5	31.8	35.8	24.0
麻酔	5.3	0.1	5.2	6.1	5.2	5.2
放射線治療	14.0	-	33.8	6.4	15.8	0.2
1 日 当 た り 点 数						
総 数	924.2	779.7	1 162.2	804.2	976.7	563.1
初・再診	106.4	73.7	87.4	107.7	109.3	131.3
医学管理等	40.1	15.4	30.3	39.8	42.6	72.3
在宅医療	53.4	3.3	104.1	40.3	58.6	18.9
検査	179.4	28.2	303.6	122.6	207.6	75.5
画像診断	119.8	5.4	185.7	86.4	138.6	15.6
投薬	200.3	273.0	228.2	192.1	198.2	131.3
注射	64.5	5.1	132.3	45.7	71.7	19.5
リハビリテーション	13.0	0.3	2.8	23.4	8.8	4.6
精神科専門療法	23.0	375.0	18.2	14.3	9.2	13.5
処置	90.9	0.2	7.6	108.4	94.0	65.7
手術	21.4	0.0	32.6	16.9	24.0	12.1
麻酔	3.3	0.0	3.9	3.3	3.5	2.6
放射線治療	8.7	-	25.4	3.4	10.6	0.1
1 件 当 た り 日 数						
	1.60	2.02	1.33	1.88	1.49	1.98

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図8 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

4 DPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外別にみた診療行為の状況

入院における1件当たり点数をDPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外に分けてみると、DPCに係る明細書 49,582.1 点、DPCに係る明細書以外 35,802.4 点となっている。

1日当たり点数は、DPCに係る明細書 4,648.6 点、DPCに係る明細書以外 2,157.7 点となっている。

1件当たり日数は、DPCに係る明細書 10.67 日、DPCに係る明細書以外 16.59 日となっている。(表7)

表7 DPCに係る明細書 - DPCに係る明細書以外別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

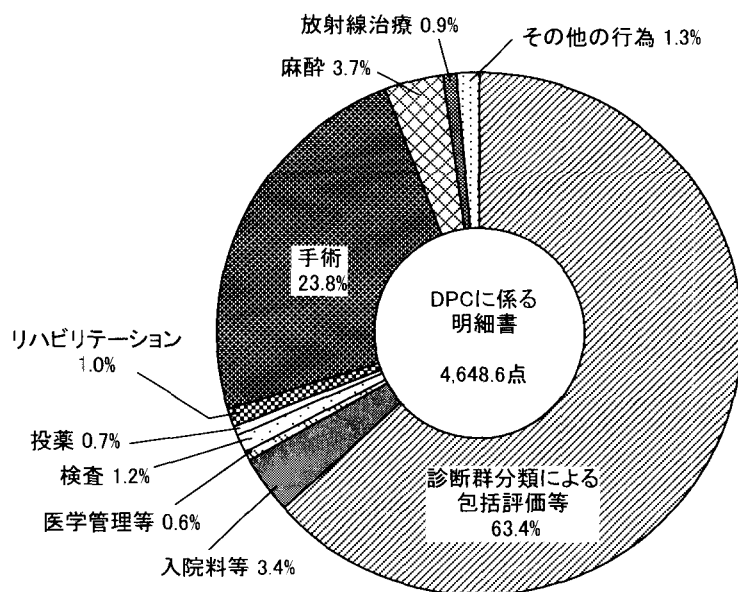
(各年6月審査分)

診療行為	平成18年		平成17年		増減点数		増減率(%)	
	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外
	1 件 当 た り 点 数							
総 数	49 582.1	35 802.4	50 615.5	36 673.2	△ 1 033.4	△ 870.8	△ 2.0	△ 2.4
初 ・ 再 診	54.4	41.0	64.8	47.8	△ 10.4	△ 6.8	△ 16.0	△ 14.2
医 学 管 理 等	314.2	298.6	361.7	327.1	△ 47.5	△ 28.5	△ 13.1	△ 8.7
在 宅 医 療	108.8	54.7	71.6	59.1	37.2	△ 4.4	51.9	△ 7.5
検 査	575.7	1 602.5	537.4	1 863.4	38.2	△ 260.9	7.1	△ 14.0
画 像 診 断	95.2	972.4	65.8	1 102.4	29.4	△ 130.1	44.6	△ 11.8
投 薬	328.0	834.3	323.1	865.1	4.8	△ 30.7	1.5	△ 3.6
注 射	183.1	2 350.7	79.2	2 801.8	103.9	△ 451.2	131.1	△ 16.1
リハビリテーション	471.5	1 144.1	418.0	928.1	53.5	216.0	12.8	23.3
精神科専門療法	6.4	206.3	7.5	177.1	△ 1.2	29.2	△ 15.3	16.5
処 置	213.0	1 071.4	224.6	1 170.2	△ 11.6	△ 98.7	△ 5.2	△ 8.4
手 術	11 814.6	3 954.5	10 006.5	3 846.9	1 808.2	107.7	18.1	2.8
麻 酔	1 840.4	680.5	1 634.0	647.4	206.4	33.1	12.6	5.1
放 射 線 治 療	435.4	101.8	486.7	143.1	△ 51.3	△ 41.3	△ 10.5	△ 28.9
入 院 料 等	1 707.1	22 489.5	1 635.9	22 693.5	71.1	△ 204.0	4.3	△ 0.9
診断群分類による 包括評価等	31 434.3	-	34 698.6	-	△ 3 264.3	-	△ 9.4	-
	1 日 当 た り 点 数							
総 数	4 648.6	2 157.7	4 318.8	2 152.8	329.8	4.9	7.6	0.2
初 ・ 再 診	5.1	2.5	5.5	2.8	△ 0.4	△ 0.3	△ 7.7	△ 11.9
医 学 管 理 等	29.5	18.0	30.9	19.2	△ 1.4	△ 1.2	△ 4.5	△ 6.3
在 宅 医 療	10.2	3.3	6.1	3.5	4.1	△ 0.2	66.9	△ 5.0
検 査	54.0	96.6	45.9	109.4	8.1	△ 12.8	17.7	△ 11.7
画 像 診 断	8.9	58.6	5.6	64.7	3.3	△ 6.1	58.9	△ 9.4
投 薬	30.7	50.3	27.6	50.8	3.2	△ 0.5	11.5	△ 1.0
注 射	17.2	141.7	6.8	164.5	10.4	△ 22.8	154.0	△ 13.9
リハビリテーション	44.2	68.9	35.7	54.5	8.5	14.5	23.9	26.6
精神科専門療法	0.6	12.4	0.6	10.4	△ 0.0	2.0	△ 7.0	19.6
処 置	20.0	64.6	19.2	68.7	0.8	△ 4.1	4.2	△ 6.0
手 術	1 107.7	238.3	853.8	225.8	253.9	12.5	29.7	5.5
麻 酔	172.5	41.0	139.4	38.0	33.1	3.0	23.8	7.9
放 射 線 治 療	40.8	6.1	41.5	8.4	△ 0.7	△ 2.3	△ 1.7	△ 27.0
入 院 料 等	160.0	1 355.4	139.6	1 332.2	20.5	23.2	14.7	1.7
診断群分類による 包括評価等	2 947.2	-	2 960.7	-	△ 13.5	-	△ 0.5	-
	1 件 当 た り 日 数							
	10.67	16.59	11.72	17.04				

注：DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。

図9 診療行為別にみたDPCに係る明細書の1日当たり点数の構成割合

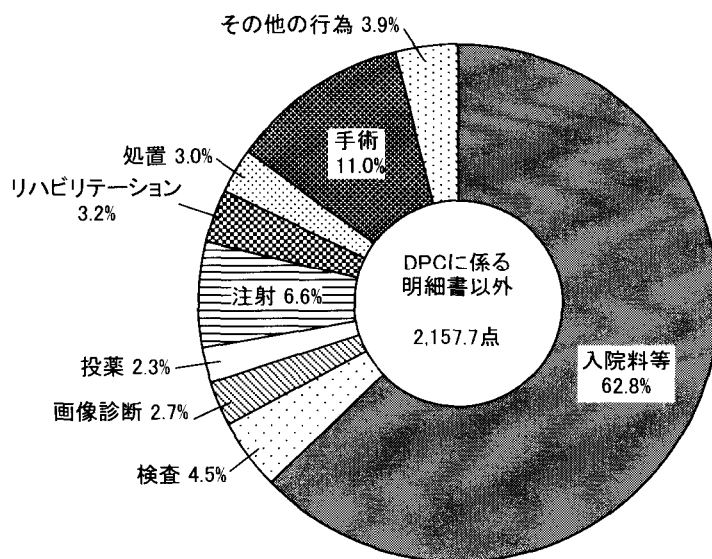
(平成18年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
2) 「その他の行為」は、「初・再診」「在宅医療」「画像診断」「注射」「精神科専門療法」及び「処置」である。

図10 診療行為別にみたDPCに係る明細書以外の1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
2) 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

5 傷病分類別にみた1日当たり点数

入院における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「Ⅶ 眼及び付属器の疾患」が最も高く、それぞれ4,736.3点、4,637.7点となっている。

入院外における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療では「Ⅱ 新生物」、老人医療では「ⅩⅣ 腎尿路生殖器系の疾患」が最も高く、それぞれ1,491.9点、1,936.6点となっている。(表8)

表8 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成18年6月審査分)

傷病分類	入院		入院外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総数	2 515.5	2 121.7	641.3	723.0
I 感染症及び寄生虫症	2 607.8	2 369.7	574.2	541.5
II 新生物	3 822.6	2 913.3	1 491.9	1 560.9
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	3 452.3	2 654.8	2 098.7	1 602.9
乳房の悪性新生物 (再掲)	3 829.9	4 925.7	2 424.2	1 347.4
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 249.1	2 504.1	926.0	838.4
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 434.6	1 939.0	882.7	803.4
糖尿病 (再掲)	2 302.8	1 916.1	1 031.6	921.3
V 精神及び行動の障害	1 128.8	1 154.1	631.5	605.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 085.3	1 051.1	748.3	589.4
VI 神経系の疾患	1 935.9	1 585.7	649.0	754.4
VII 眼及び付属器の疾患	4 736.3	4 637.7	561.3	624.0
白内障 (再掲)	5 688.2	5 534.9	670.5	595.6
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3 471.1	2 606.9	445.2	383.7
IX 循環器系の疾患	3 598.2	2 199.9	879.1	792.4
高血圧性疾患 (再掲)	2 196.5	1 920.0	895.5	813.1
虚血性心疾患 (再掲)	8 725.3	3 661.4	899.8	828.9
脳梗塞 (再掲)	2 474.9	1 864.0	864.6	711.1
X 呼吸器系の疾患	3 087.3	2 363.7	473.3	806.5
肺炎 (再掲)	2 967.2	2 473.9	765.5	1 115.7
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	3 146.4	1 691.0	471.7	517.2
喘息 (再掲)	2 770.0	1 810.5	547.0	890.7
X I 消化器系の疾患	3 240.6	2 659.2	679.9	668.2
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2 659.1	1 956.8	401.0	386.2
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 593.4	1 896.5	398.5	344.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	3 080.2	1 854.3	380.7	356.1
関節症 (再掲)	4 034.6	2 576.2	355.1	369.7
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	3 398.4	2 601.5	1 153.0	1 936.6
腎不全 (再掲)	3 209.5	2 617.6	2 966.9	3 041.3
尿路結石症 (再掲)	4 866.6	3 054.7	1 056.9	1 097.4
X V 妊娠、分娩及び産じょく	2 670.1	-	540.3	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 632.5	2 172.5	488.4	460.0
骨折 (再掲)	2 635.3	2 261.3	513.2	466.6
その他の傷病	3 471.6	2 287.5	713.8	677.1

注: 1) 傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

6 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,255.8点で、前年に比べ106.9点、7.8%減少している。

1日当たり点数は、581.2点で、前年に比べ17.9点、3.0%減少している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」265.0点(構成割合45.6%)が最も高く、次いで「処置」91.8点(15.8%)、「初・再診」67.8点(11.7%)の順となっている。

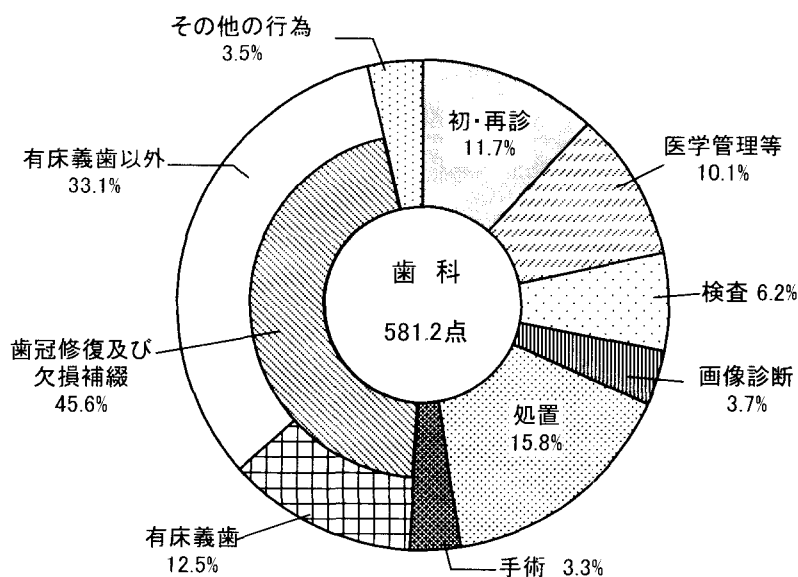
1件当たり日数は2.16日で、前年に比べ0.11日減少している。(表9、図11)

表9 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成18年	平成17年	対前年		平成18年	平成17年	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 255.8	1 362.7	△ 106.9	△ 7.8	581.2	599.1	△ 17.9	△ 3.0
初・再診	146.5	193.2	△ 46.7	△ 24.2	67.8	85.0	△ 17.2	△ 20.2
医学管理等	126.9	113.2	13.7	12.1	58.7	49.8	8.9	18.0
在宅医療	9.1	7.4	1.7	22.9	4.2	3.2	1.0	29.3
検査	78.2	75.6	2.6	3.4	36.2	33.3	2.9	8.8
画像診断	46.7	48.9	△ 2.2	△ 4.4	21.6	21.5	0.1	0.6
投薬	22.3	25.4	△ 3.0	△ 12.0	10.3	11.2	△ 0.8	△ 7.3
注射	1.2	1.5	△ 0.4	△ 25.5	0.5	0.7	△ 0.1	△ 21.6
リハビリテーション	0.1	0.2	△ 0.1	△ 46.4	0.0	0.1	△ 0.0	△ 43.6
処置	198.5	220.7	△ 22.2	△ 10.1	91.8	97.0	△ 5.2	△ 5.3
手術	42.0	45.4	△ 3.3	△ 7.4	19.4	19.9	△ 0.5	△ 2.5
麻酔	2.9	3.6	△ 0.6	△ 18.0	1.4	1.6	△ 0.2	△ 13.7
放射線治療	0.2	0.2	△ 0.0	△ 15.1	0.1	0.1	△ 0.0	△ 10.6
歯冠修復及び欠損補綴	572.5	618.7	△ 46.2	△ 7.5	265.0	272.0	△ 7.0	△ 2.6
歯科矯正	1.4	0.9	0.4	47.2	0.6	0.4	0.2	55.0
入院料等	7.3	7.7	△ 0.4	△ 5.1	3.4	3.4	△ 0.0	△ 0.1
(1件当たり日数)	(2.16)	(2.27)						

図11 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

7 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,210.2 点、老人医療 1,565.4 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 570.1 点、老人医療 647.7 点で、年齢階級別にみると、「75歳以上」653.6 点が最も高く、次いで「65～74歳」602.3 点となっており、「0～14歳」456.8 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.12 日、老人医療 2.42 日となっている。(表10、図12)

表10 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

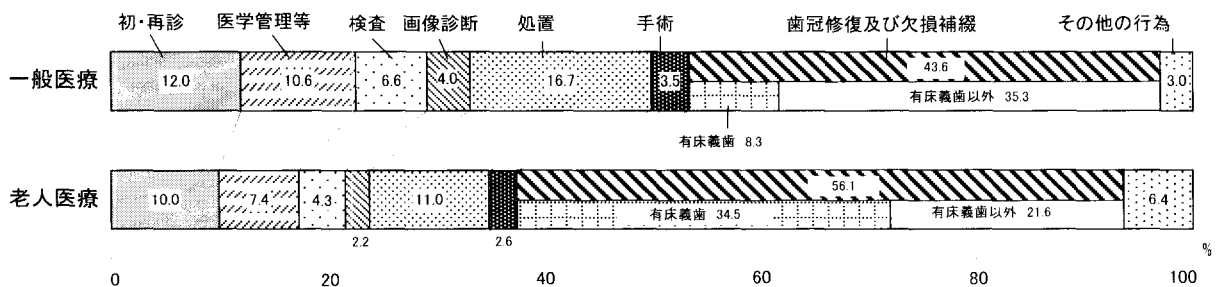
(平成18年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
		1	件 当 た り 点 数				
総初診	1 210.2	1 565.4	719.9	1 209.6	1 300.5	1 440.5	1 566.8
・再診	145.1	156.1	158.7	147.9	139.3	145.2	156.2
医学管理	128.6	115.4	107.0	130.8	133.0	131.7	113.5
在宅医療	2.0	57.0	-	-	2.9	10.9	60.0
検査	79.8	67.2	20.6	97.3	89.6	79.0	66.4
画像診断	48.5	34.9	25.8	69.3	46.2	41.9	33.8
投薬	22.3	22.5	7.2	27.7	24.2	22.9	21.9
注射	1.0	2.5	0.1	1.2	1.1	1.5	1.8
リハビリテーション	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2
処置	202.2	172.7	94.0	230.0	222.8	202.1	166.7
手術	42.2	40.7	28.1	49.0	41.7	46.8	37.5
麻酔	3.1	2.0	1.3	5.7	2.6	2.2	1.7
放射線治療	0.1	0.5	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4
歯冠修復及び欠損補綴	527.5	878.1	273.7	436.5	591.1	747.1	892.5
歯科矯正等	1.6	-	1.5	5.2	0.0	-	-
入院料等	6.1	15.5	1.7	8.9	5.8	8.8	14.2
		1	日 当 た り 点 数				
総初診	570.1	647.7	456.8	577.4	582.3	602.3	653.6
・再診	68.3	64.6	100.7	70.6	62.4	60.7	65.2
医学管理	60.6	47.7	67.9	62.4	59.5	55.0	47.3
在宅医療	1.0	23.6	-	-	1.3	4.5	25.0
検査	37.6	27.8	13.1	46.5	40.1	33.0	27.7
画像診断	22.8	14.4	16.4	33.1	20.7	17.5	14.1
投薬	10.5	9.3	4.6	13.2	10.8	9.6	9.2
注射	0.5	1.0	0.1	0.6	0.5	0.6	0.8
リハビリテーション	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
処置	95.3	71.5	59.6	109.8	99.8	84.5	69.5
手術	19.9	16.8	17.8	23.4	18.7	19.6	15.6
麻酔	1.5	0.8	0.8	2.7	1.1	0.9	0.7
放射線治療	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2
歯冠修復及び欠損補綴	248.5	363.3	173.7	208.3	264.7	312.4	372.3
歯科矯正等	0.7	-	1.0	2.5	0.0	-	-
入院料等	2.9	6.4	1.1	4.2	2.6	3.7	5.9
		1	件 当 た り 日 数				
	2.12	2.42	1.58	2.10	2.23	2.39	2.40

注:「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図12 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

8 傷病分類別にみた1日当たり点数

1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「顎、口腔の嚢胞」が最も高く、それぞれ 2,519.2 点、2,090.2 点となっており、次いで「新生物」が高く、それぞれ 1,244.3 点、1,255.0 点となっている。
(表11)

表11 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

傷病分類	(平成18年6月審査分)	
	一般医療	老人医療
総数	570.1	647.7
う蝕	586.1	711.5
感染を伴わない歯牙慢性硬組織疾患	283.2	288.9
歯髄炎等	578.2	651.5
根尖性歯周炎(歯根膜炎)等	492.3	530.9
歯肉炎	429.8	434.8
歯周炎等	496.5	509.9
歯冠周囲炎	426.8	297.7
顎、口腔の炎症及び膿瘍	782.4	688.5
顎、口腔の先天奇形及び発育障害	713.0	688.3
顎機能異常	555.7	399.4
顎、口腔の嚢胞	2 519.2	2 090.2
顎骨疾患等	661.0	1 273.2
口腔粘膜疾患	274.0	334.7
新生物	1 244.3	1 255.0
口腔、顔面外傷及び癒合障害等	618.1	563.9
補綴関係(歯の補綴)	845.0	758.8
その他	740.5	887.2

注：傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

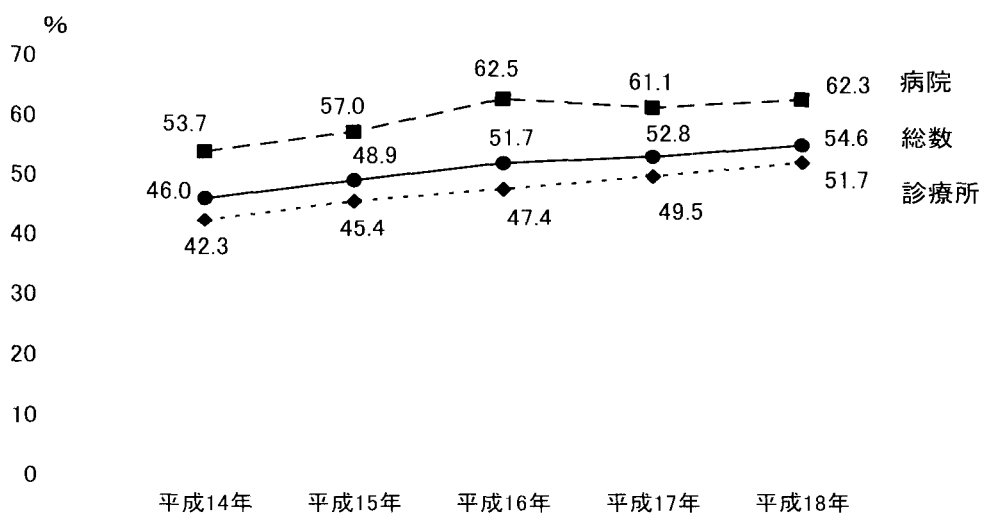
〔院外処方〕

9 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で 54.6%となっており、前年(52.8%)に比べ 1.9 ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院 62.3%、診療所 51.7%と病院の方が高く、前年に比べ病院では 1.3 ポイント、診療所では 2.2 ポイント上昇している。(図13)

図13 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注：院外処方率とは、「処方料」及び「処方せん料」の合計算定回数に対する「処方せん料」算定回数の割合である。

〔薬局調剤〕

10 調剤行為の状況

1件当たり点数は 959.0 点で、前年に比べ 2.8 点、0.3%減少している。

処方せんの受付1回当たり点数は 666.5 点で、前年に比べ 5.7 点、0.8%減少している。調剤行為別にみると、「薬剤料」476.3 点が最も高く、次いで「調剤技術料」152.8 点、「薬学管理料」36.7 点となっている。

1件当たり受付回数は1.44 回で、前年に比べ0.01 回増加している。

一般医療、老人医療別にみると、1件当たり点数は一般医療 822.1 点、老人医療 1,362.0 点、受付1回当たり点数は一般医療 594.3 点、老人医療 850.1 点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、一般医療、老人医療ともに「薬剤料」の割合が約7割となっている。(表12・13、図14)

表12 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	1件当たり点数					受付1回当たり点数						
	平成18年	平成17年	対前年		平成18年	平成17年	対前年					
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)				
総数	959.0	961.8	△	2.8	△	0.3	666.5	672.2	△	5.7	△	0.8
調剤技術料	219.8	217.3		2.5		1.1	152.8	151.9		0.9		0.6
薬学管理料	52.8	52.7		0.1		0.3	36.7	36.8	△	0.1	△	0.3
薬剤料	685.3	690.4	△	5.1	△	0.7	476.3	482.5	△	6.2	△	1.3
特定保険医療材料料 (1件当たり受付回数)	0.9 (1.44)	1.3 (1.43)	△	0.3	△	27.4	0.6	0.9	△	0.2	△	27.8

表13 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1件当たり点数								
総数	959.0	822.1	1362.0	479.6	622.9	932.4	1173.7	1351.8
調剤技術料	219.8	194.5	294.3	187.8	155.9	198.2	239.8	296.6
薬学管理料	52.8	51.3	57.3	61.2	47.5	47.9	53.0	57.5
薬剤料	685.3	575.4	1008.9	230.6	419.2	685.2	878.8	996.5
特定保険医療材料料	0.9	0.8	1.2	0.0	0.4	1.1	1.7	0.9
受付1回当たり点数								
総数	666.5	594.3	850.1	315.7	488.3	692.3	807.7	839.6
調剤技術料	152.8	140.6	183.7	123.6	122.2	147.1	165.0	184.2
薬学管理料	36.7	37.1	35.8	40.3	37.2	35.6	36.5	35.7
薬剤料	476.3	416.0	629.7	151.7	328.6	508.8	604.8	618.9
特定保険医療材料料	0.6	0.6	0.8	0.0	0.3	0.8	1.2	0.6
1件当たり受付回数								
	1.44	1.38	1.60	1.52	1.28	1.35	1.45	1.61

図14 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合
(平成18年6月審査分)

